

その理由として、小さい年齢のうちから「機械に触れる習慣」を身につければ、親が手助けしなくとも、子ども達自身でいろんなものに「興味」を持つようになるからだと思います。また、夫自身の経験から、機械に触れることは「楽しい」と、娘たちにも知ってもらいたい親心だったのでしょう。楽しいことは長続きするのは自然なことですから、「抵抗感なく機械を使える」女性へと育てば万々歳です。

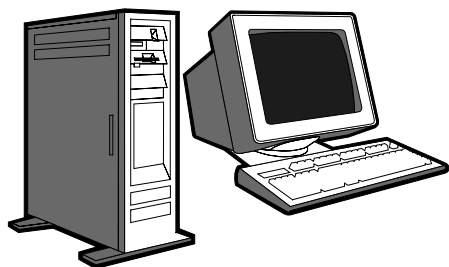
そう言えば、いろんなものが故障しやすいアメリカの生活環境の中で、「機械音痴」の私がすぐ夫に頼っているのですから、娘たち自身で問題を解決できるように教育しようとするのも、もっともなことです。何はともあれ、機械に触れる環境を作ってくれ、その上、忙しい父親が娘たちと遊んでくれるという一石二鳥なのですから、夫の積極的な子育てには大賛成です。

<コンピュータ>

私が「娘とロボット」で頭を悩ます数年前に、夫は、娘たちが成人する頃のアメリカ社会が「コンピュータ化」し、いろんなことが激変するだろうと予測していました。そのため、機械の中でもコンピュータ教育に拍車がかかりました。

ソフトにバグ（穴の開け損ね）が出たと言っても、何千枚とあるカード（紙）の中の一つをたまたま探り当てたり修正したりしなければならない、ミニ・コンピュータ黎明期から関わってきた経験の持ち主だった夫なので、コンピュータ時代の到来を考えたのでしょう。その頃は、ソフトを動かすことすらままならない機械相手に、大変な思いをしていました。そんな姿を見ると「手で解析したほうが早くない？」と、私は理解に苦しんだものです。ところが、団塊の世代の夫にとって、人の手による「限られた仕事を終わらせるだけ」の作業が、「ソフトしだいではいろんな可能性を導き出せる」画期的な発明品を、自分で使いこなさずしてどうする（!）というほど、私との間に価値観の違いがありました。

そんな人ですから、コンピュータが家庭に普及する前にはもうすでに、「コンピュータに強い子育て」に熱心でした。自作のコンピュータのハードはもちろんのことパーツ一つ買うのにも、



いちいち娘たちを連れて行きます。品物は何であれ、買い物は大好きな娘たちですから、お父さんに付き合います。多分、

店の中では、買わない部品の知識まで授けられたことでしょう。そして、自分たちもドライバーを手に、父親を手伝いながら組み立て方や分解の仕方を覚え、その仕組みや構造までも学んだのだと思います。

子どもと一緒に私もコンピュータの知識が備わっているはずなのに、娘たちほど機械に対する好奇心も育たず、いまだに「機械に弱い」まま、男性任せに甘んじています。夫の自説どおり、「鉄は熱いうちに打て」？

<インターネットとロボット>

日英二つの言語を日常的に使用する我が家では、通信手段が国際電話からコンピュータによるインターネットに取って代わりました。娘たちが機械や機能に慣れると、さらに興味を持たせようと、どんどんそれを利用させました。最初は、ダイヤル・アップで繋ぐ時代でしたから、娘のコンピュータを使った長時間のチャットで目が飛び出るような請求書もらい、家計に痛いというほどの授業料を払わされる経験もしました。

長年にわたる「なぜ、ロボット？」という私の疑問は、コンピュータやインターネットを、それなしでの生活は考えられないくらいに必需品としてみると、社会が求める技術とともに発生した一つの形なのだという、自分なりの結論に至りました。

ポスト・コンピュータではどんな機械が出現するのか、想像できません。ですが、「機械に強く育った」娘たちは、どんな種類のものにも、うまく共生していくのだと思います。

<恩恵に浴す>

子どもを育てるのに、将来を見通し、確信をもって当たることは不可能です。ですが、親がはっきりと意図した教育に、きちんとした結果が出ることもあります。その結果が、子どもにとって利益あるものならば、喜ばしいこと限りなしです。

松本 康子（まつもと やすこ）

1979年、夫の留学で、1歳半の長女を帯同し渡米。その後、アメリカで次女、三女を出産。専業主婦として子育てと教育を担当。

子ども達は、親から見てうらやましいバイリンガル・バイカルチャーの大人に育ちました。しかし、「アメリカで日本人の子どもをバイリンガルに育てた」私が、実は、子どもに育てられていたのです。このコラムでは、「海外でともに育った母と子」の姿を紹介させていただきます。

皆さんの海外での子育ての参考になりますでしょうか？



「子どもを育てるのに、将来を見通し、確信をもって当たることは不可能です。」という康子さんの言葉に心から賛成します。

情報化社会・グローバル化社会。様々な呼び方をされますが、私達の子どもが生きるこれから50年間の社会が急激な変化を遂げることに、間違いはありません。その社会を生き抜いていける子ども達をどうして育てたらいいのか？

机に向かっての勉強はもちろん必要ですが、それ以外の知恵・力も欠かせないのでは？それが「生きる力」の内容でしょうか？